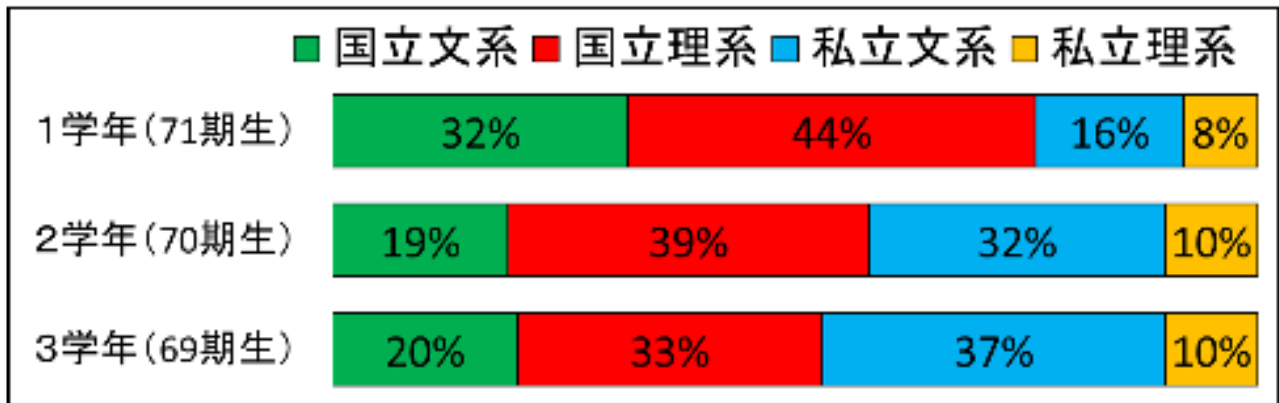


# 竹早だより

平成28年度5月号  
平成28年5月18日  
東京都立竹早高等学校  
文京区小石川4-2-1  
電話03(3811)6961

## 強まる国公立志向（4月の進路希望調査結果より）

校長 高田 純一



まず、1年生（71期生）ですが、国公立大学志望率が76%と驚異的な数字です。理系の志望率も52%と半数を超えています。この志望を持ち続けてほしいものです。

2年生（70期生）は、国公立志望率が58%ですが、理系の志望率は49%であり、ほぼ半数となっています。3年次コース選択に向け、進路学習をしっかりと行いましょう。

3年生（69期生）の国公立志望率は53%と他学年に比べやや低いように思うかも知れませんが、昨年の3年生（68期生）の同時期の数値44%を9ポイントも上回っています。是非このまま第一志望を維持して、過去最高の結果を出してほしいものです。

## 国公立大学Q & A

Q1 国・私併願だと、どちらも中途半端で「虻蜂(あぶはち)取らず」になりませんか？

A1 苦しくなってくると国立をやめて私立に絞りたいくなりますが、うまくいきません。なぜなら「〇〇をやめる」というマイナス思考からは推進力が生まれにくいからです。国立の後期まで粘りましょう。なお、浪人覚悟で国立だけに絞るのは有りでしょう。

Q2 国立を目指す結局、地方大しか受からず、かえって親に負担をかけませんか？

A2 地方だと物価や家賃が安価です。また、大学院を選択する際に、関東にもどるという方法も有力です。特に理系の場合、6年間の国私学の学費差は大きいものです。

Q3 国立で5教科も勉強するより、私立3教科の方が合格しやすいと思いませんか？

A3 私立は高倍率だし、3教科そろわないと受かりません。それに対し国立は苦手な教科を許容してくれる優しさがあります。教科数の多さがあなたを救ってくれます。

Q4 親が、難関の国立など諦め、MARCHでいいから確実に入れと言うんですが？

A4 「明治×で筑波〇」「明治×で千葉〇」「中央×で首都大〇」「芝浦×で横国〇」「立教×で外大〇」「東洋×で埼玉〇」「文教×で学芸〇」……、これらはすべて今年の実例です。国立がMARCHよりも常に難しいと考えるのは、先入観です。勉強の仕方によっては、国立はMARCHよりも確実に合格できる場合があります。

## 盛り上がった体育祭

5月16日（月）六義公園運動場において今年度の体育祭を実施しました。天候にも恵まれて素晴らしい体育祭になりました。結果はE団の三冠達成という衝撃的なものになりましたが、どの生徒の顔にも満足感があふれていました。

さて、来年に向けて、パフォーマンスで勝利するための秘訣をお伝えします。それは、審査員の「視野」にやさしい演技を目指そうということです。つい、雄大さをねらってフィールドに広く展開したくなりますが、すると、審査員の視野に捉える人数が減ってしまい、かえってまばらで寂しい印象になってしまいます。また、テントに近づき過ぎても同じことになります。人間の最大視野角である120度に納まるようフィールドの奥で演技することも有効です。どんな物事にも「科学的な根拠」があります。ただ良かったのではなく、なぜ良かったのかと分析的に考えることが次につながります。



## 5月・6月の主な行事予定

### 〈5月〉

27（金）中間考査始



### 〈6月〉

- 1（水）中間考査終
- 11（土）授業公開・保護者会①②③
- 13（月）進路講演会①②
- 16（木）授業公開代休
- 20（月）進路オリエンテーション②③